



令和2年度 那賀町当初予算のお知らせ

一般会計当初予算（前年度比 -18.26%）

当初予算合計 94億円

歳入予算内訳

依存財源	7,008,829 千円
国・県から交付される財源で、この比率が大きいほど、国や県に依存している。	74.56%

自主財源	2,391,171 千円
町税や使用料など、町が自主的に収入できる財源のこと。	25.44%

	区 分	予算額(千円)	構成比
依存財源	地方交付税	4,450,000	47.34%
	地方債	923,400	9.82%
	県支出金	823,374	8.76%
	国庫支出金	456,850	4.86%
	地方消費税交付金	167,766	1.79%
	地方譲与税	159,596	1.70%
	法人事業税交付金	9,531	0.10%
	環境性能割交付金	7,792	0.08%
	配当割交付金	5,037	0.05%
	株式等譲渡所得割交付金	2,879	0.03%
	地方特例交付金	1,000	0.01%
	交通安全対策特別交付金	1,000	0.01%
	利子割交付金	604	0.01%
自主財源	繰入金	1,114,280	11.86%
	町税	879,363	9.36%
	使用料及び手数料	189,808	2.02%
	諸収入	85,881	0.91%
	寄附金	50,002	0.53%
	繰越金	37,756	0.40%
	財産収入	21,832	0.23%
	分担金負担金	12,249	0.13%

歳出予算内訳

◆目的別歳出予算

区 分	予算額(千円)	構成比
議会費	75,863	0.81%
総務費	2,405,698	25.59%
民生費	1,467,656	15.61%
衛生費	873,785	9.30%
労働費	12,873	0.14%
農林水産業費	951,816	10.13%
商工費	60,637	0.64%
土木費	725,218	7.71%
消防費	449,946	4.79%
教育費	540,741	5.75%
災害復旧費	10,220	0.11%
公債費	1,785,547	18.99%
予備費	40,000	0.43%

◆性質別歳出予算

	区 分	予算額(千円)	構成比
1	人件費	2,227,839	23.70%
	公債費	1,785,547	19.00%
	扶助費	373,947	3.98%
2	普通建設事業費	1,512,097	16.08%
	災害復旧事業費	10,000	0.11%
3	物件費	1,495,848	15.91%
	繰出金	866,370	9.22%
	補助費等	756,935	8.05%
	積立金	265,199	2.82%
	維持補修費	51,238	0.54%
	予備費	40,000	0.43%
	貸付金	14,980	0.16%

1	義務的経費	4,387,333 千円
2	投資的経費	1,522,097 千円
3	その他経費	3,490,570 千円

特別会計当初予算

当初予算合計 5,033,591千円

特 別 会 計 名	本年度予算(千円)	特 別 会 計 名	本年度予算(千円)
国民健康保険事業特別会計	1,044,301	集落排水事業特別会計	164,874
国民健康保険診療所事業特別会計	434,212	ケーブルテレビ事業特別会計	369,000
後期高齢者医療特別会計	177,589	財産区事業特別会計	446
介護保険事業特別会計	1,974,744	町立上那賀病院事業会計(公営企業会計)	590,343
簡易水道事業特別会計	246,722	工業用水道事業会計(公営企業会計)	31,360

令和2年度 那賀町当初予算の概要

令和2年度は、第1期那賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間の終了に伴いこれまでの戦略を検証し、「第2期那賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

今回の総合戦略では、検証による中間報告を踏まえ、人口減少対策や防災・減災、医療・介護等の社会保障関連、高度情報通信網対応などが引き続き重要事項として計画に盛り込まれました。

財政状況においては、地方交付税における合併特例が終了し、今後の人口減少によってはさらに地方交付

税が減少することが想定されます。また、合併特例債の発行可能額も残り僅かとなり、インフラ整備に必要な普通建設事業や合併前に建設された施設の老朽化対策、類似施設の集約化、廃止などの維持修繕経費を賄うための財源確保が重要課題であります。

そうした状況のなか、長期的な視野に立って、人口減少と地域経済の衰退を克服し、定住人口や交流人口の増加を地域経済の発展につなげ、本町が有する地域の特性や強みを活かし、町の魅力を発信していくことにより、活力あるまちづくりに努めてまいります。

令和2年度 一般会計予算における総合戦略事業

⑧花卉生産施設のモデルハウス設置	23,364千円
花卉産地をリードしながら、高い生産性を持つ経営体となるとともに、新規生産者の育成や高齢農家のサポートを行います。	
⑨地域雇用創出事業	12,873千円
厳しい雇用情勢に対処するための雇用創出事業として、草刈等による施設美化のための地域雇用創出作業員を雇用します。	
(2) 地域産業における雇用拡大	
①林業従事者の雇用拡大	18,693千円
林業従事者を募るイベント等を開催するとともに、新規就業者の技術習得支援や林業事業体に対する社会保険料等の支援を行うことにより、生産性の向上や林業経営基盤の安定を図ります。	
②高性能林業機械及び労働環境改善機器の導入支援	16,130千円
木材の生産性を高める高性能林業機械や、山林労働環境を改善する機器に対する購入補助を行うことにより、素材生産量の拡大と担い手の定着を図ります。	
③林道・作業道開設延長の拡大	304,106千円
木材輸送コストや森林施業コストを削減するため、林道・作業道の開設工事や改良工事を行い、林業振興を図ります。	
④木材生産量の拡大	23,302千円
主伐や間伐材搬出に対する補助及び再造林に対する補助に加え、林業事業体等への間接的補助を横断的に実施し、林業の成長産業化を推進します。	
⑤鳥獣害対策事業	33,295千円
農林水産物の鳥獣害対策のため、従来のネット、電気柵の設置に加え大型檻の設置経費を助成するとともに、有害鳥獣駆除捕獲委託事業を行います。また高齢化する駆除班の後継者作りのため、狩猟免許取得や狩猟保険に対する助成を行います。	
⑥中山間地域等直接支払交付金	44,750千円
中山間地域での条件不利農地の保全を図る取組を支援します。	

1 安定して働き続けることができる那賀町における「しごと」の創生	
(1) 新しい雇用の創出	
①新規就農者への営農支援	12,000千円
農業次世代投資資金により若手の新規就農者に対する支援を行います。	
②認定農業者支援	5,789千円
農業生産物の種苗代金等の補助や、特産品物流対策費補助、その他各種団体への活動費補助などを通じて農業の振興と活性化を図ります。	
③ゲストハウス・民泊推進	1,100千円
商工会小規模事業者需要開拓支援事業に対して助成を行い、郷土料理（ご当地メニュー）、民泊支援、及び新たな特産品開発支援を行い、後継者育成や雇用創出を図ります。	
④未利用材の有効利用による新規雇用者の創出	1,880千円
バイオマスタウン構想を含め、未利用材を活用した産業等の活性化を図り、雇用の創出を図ります。	
⑤ドローン利活用事業	1,007千円
ドローン推進室サイト運営やドローン展に出展することにより、取り組みを全国にPRし、ドローンによるまちおこしを図ります。	
⑥森林の境界明確化事業に関する雇用の拡大	29,110千円
豊かな森林を次世代に引き継ぐため、森林境界の調査確定事業を拡大し、森林経営管理の推進を図ります。	
⑦地域商社の立ち上げによる雇用創出	23,210千円
AI・ドローン等の新技術を用いた農林業を社会実装する地域商社を産学官が連携した協議会でサポートすることにより、持続可能な地域産業の活性化を図ります。	

②移住定住対策費	17,058千円
移住希望者の定住促進と移住後の生活の安定を支援する推進員を設置し、都市からの移住を推進するとともに定住を促進します。	
③空き家改修事業	3,000千円
空き家バンクに登録済の物件を改修する際の費用を補助し、移住促進を図ります。	
(2) 交流人口及び関係人口の拡大	
①都市部との交流事業	540千円
会員の交流、親睦を図るとともに「ふるさと」との絆を深め、那賀町の振興発展に寄与することを目的とした事業を実施します。	
②移住体験事業	1,170千円
移住を検討している方に対して、一定期間町内での生活を体験できる施設を貸し出すことで移住を促進します。	
③農業体験等関係事業	1,130千円
産地や地域の住民が一体となり就農支援体制を整備するとともに、本町特産の「ケイトウ」「ゆず」の担い手確保や、もうかる農業を定着させ産地の育成を図ります。	
④町内観光施設関係及びインバウンド関係事業	29,632千円
那賀町観光協会等の団体補助、観光施設の維持・修繕、各種イベントの助成などを通じ外国人旅行者も含めた観光誘客に取り組めます。	
⑤林業体験等イベント関係事業	3,000千円
林業の未来を担う新規就業者を募るイベントの開催や森林・林業を身近に感じてもらえるイベントを支援し、林業の普及啓発を行います。	
⑥カヌー体験	150千円
川口ダム湖がドイツナショナルチームの事前キャンプ地となったことを契機に当地においてジュニア大会や体験会を開催し、カヌー選手の育成に努めます。	
⑦スマート回廊地域創造事業	1,500千円
川口ダム湖周辺をスマート回廊と位置づけ、自然エネルギー体験・映像展示やカードラリー・ツアーパス事業などに対して支援を行い、交流人口の増加やにぎわいの創出を目指します。	
⑧「四国の右下・魅力倍増」推進事業	3,460千円
県民局・県南1市4町で立ち上げた、四国の右下観光局（DMO）と連携し広域的な観光振興に取り組めます。	
⑨相生森林美術館の運営	17,830千円
常設展・企画展を実施し、ギャラリートーク、講演会や木彫り・木版画の実技講習会などに積極的に取り組み、交流人口の増加を図ります。	
⑩那賀町農村舞台公演	3,220千円
町内6か所による農村舞台を活用した伝統的な文化を継承するとともに、新たな活用に向けた支援を行います。また、国指定の重要無形民族文化財に指定されている太布織りや伝統的な文化である吹き筒花火の保存・継承の取り組みを行います。	

⑦多面的機能支払交付金	4,802千円
地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進することにより、農業、農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持発揮されるとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しします。	
⑧広域営農団地整備事業	47,155千円
県が実施している広域農道阿南丹生谷線整備工事を行い、農業の振興と活性化を図ります。	
⑨森林管理サポートセンターによる施業支援	115,952千円
森林経営管理制度の推進について「とくしま南部地域森林管理システム推進協議会」と連携し、森林整備の推進を図ります。	
⑩林道維持管理事業	21,033千円
林道及び作業道の維持管理を行い、林道、作業道の機能維持を行います。	
(3) 人材の育成と受け入れ体制の整備	
①新規林業事業体支援事業	120千円
新規林業事業体に対し、卓越した技能を有した講師を派遣し、効率的な施業を支援します。	
②「木育」インストラクターの育成	6,773千円
木育インストラクターを育成するとともに木育・森林環境教育の拠点を整備し、広域ネットワークを構築することにより、都市部との相互連携を図ります。	
③無人航空機の操縦者及び安全運行管理者育成	2,900千円
那賀高校森林クリエイティブ科生徒及び住民の方を対象とした小型無人航空機認定資格取得講座を実施し、業務でのドローンの利活用を促進します。	
④林業系講習会の開催及び人材の育成	4,269千円
林業系技術講習会等を開催し、業務に必要な免許の取得や高度な技術習得を実践し、新規就業者を支援します。	
⑤地域未来塾	850千円
学校以外での学習環境の整備、学習機会を増やすため、中学3年生を対象として、学習指導・支援を行うための地域未来塾を設置し、那賀町の将来を担う人材の育成に努めます。	
⑥図書館の運営	9,388千円
住民に読書をはじめとする情報サービスを提供し、住民が知識や情報を得たりレクリエーションを楽しめるように取り組みます。	

2 那賀町への新しいひとの流れをつくる

(1) 移住支援の強化

①那賀町移住交流センター支援事業	8,350千円
推進団体への支援や移住交流イベント等を開催することで都市との交流を促進し、移住に結び付けます。	

⑥乳児・母子健康診査助成事業	5,284千円
乳幼児や妊婦の健康保持のため、各種健診を行い、費用の一部を助成します。	
⑦不妊治療費助成事業	230千円
少子化対策の一環として、不妊治療費の一部を助成します。	
⑧乳幼児・学童予防接種事業	11,816千円
乳幼児や学童の健康維持のため予防接種を行います。また、予防接種費用を助成します。	
⑨こどもはぐくみ・ひとり親家庭等医療給付事業	26,600千円
高等学校卒業までの子どもやひとり親の子どもに対し、保険医療にかかる一部負担や入院時の食事代負担について医療費の助成を行い、子育て世帯の医療費負担の軽減を図り、子育てしやすい環境をさらに推進します。	
(2) 子どもが学ぶ環境の充実	
①那賀高校支援事業	11,776千円
那賀町唯一の高校である県立那賀高校の教育振興・就学支援を図るため、教育振興に関する財政支援のほか、奨学金の支給、通学費の支援、那賀菊寮の調理、寮費補助などの支援を行います。	
②町費教員の配置	34,033千円
地域の創意工夫を生かした教育の充実を目指し、町独自で教職員を任用します。	
③外国人講師の配置	7,600千円
生きた外国語に触れる機会を増やすため、日本人教員を補助し、授業にあたる外国人講師を任用します。	
④町教育研究会等補助	2,975千円
那賀町を愛する心を育成するため、弁論大会等を開催したり、児童生徒の国内外研修に対し補助を行います。	
⑤スクールバス運行事業 通学バス運賃助成事業	29,522千円
小中学校への遠距離通学による不便性を解消するため、スクールバス等を運行します。また、路線バスを利用する生徒に対しては、運賃助成を行います。	
⑥小中学校校舎維持修繕事業	3,864千円
各小中学校校舎等の健全性を保つ必要があることから、修繕工事等を行い、安全で安心な教育環境を整備します。	
⑦教育におけるICTの活用	2,166千円
小中学校において、児童生徒用タブレット端末などを用い、教育の質の向上を目指すとともにギガスクール対応に向けた取り組みを行います。	
⑧学校図書 of 充実	1,430千円
小中学校で図書を購入し、学校図書を充実させることでより良い学習環境を整えます。	
⑨ふるさと学習（総合学習）事業	465千円
町内の小中学校が実施する、ふるさとを知り、ふるさとを愛する教育への支援を行います。	
⑩経済的な就学支援	4,965千円

⑪地域おこし協力隊の 設置及び運営事業	32,111千円
都市部の若者を地域おこし協力隊員として委嘱し、各地域の課題解決に向けての取り組みや町内の情報を発信することにより地域の活性化を図ります。	
⑫「もんでこい丹生谷」 運営協議会事業	500千円
都市在住の出身者に対してふるさと帰郷への意識啓発を行うとともに、都市住民に那賀町への移住交流を促すことにより、地域活力を取り戻す活動を実施します。	
⑬稚魚放流事業	11,472千円
漁業組合が実施する稚魚放流を支援し、釣り客等の交流人口増加を目指します。	
(3) 多様な人材の受け入れ強化	
①山村留学支援事業	800千円
次世代を担う子ども達に町の魅力を体験してもらい、町に関心を持ってもらう人材を育成するため、山村留学の取り組みを支援します。	
②インターンシップ等事業	100千円
ワークショップやフィールドワークを通じて、地元企業と若者（大学生等）のマッチングに係る調査研究等を実施する。	

3 那賀町が若い世代の定住・結婚・出産・子育てに希望が持てる地域となる

(1) 結婚・出産・子育ての希望がかなう環境づくり

①結婚・出産祝い金等事業	14,850千円
住民の結婚や出産について、新しい人生のスタートを応援するとともに、新住民の誕生を祝福し、新生児のすこやかな成長を願い、潤いと活気に満ちた明るい社会づくりのため、祝い金を交付します。定住後に生まれた子どもの人数により定期に加算金を交付します。	
②縁むすびの会運営支援事業	500千円
単身者の結婚への活動を支援する「縁むすびの会」に対して財政支援のみならず、職員が事務局となり、運営や活動を手助けします。	
③児童手当等の支給	94,045千円
児童を養育している家庭等における生活の安定を図り、次代の社会を担う児童のすこやかな成長を目的として、誕生から満15歳となる年度末まで児童手当を支給します。	
④認定こども園運営事業	286,094千円
認定こども園において、就学前の子どもに対する教育や保育及び保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進します。	
⑤地域子育て支援センター事業	12,680千円
地域子育て支援センターを拠点施設として、子育て中の親子の交流・育児相談等を行い、子どものすこやかな育ちを支援します。	

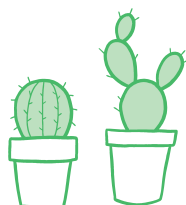
高齢者の生きがいと社会参加を促進するため、タクシーを利用した外出を支援します。一部地区で社会福祉協議会によるボランティアタクシーを運営します。	
④ゴミ分別改善・周知	688千円
ごみの搬出方法や分別方法を見直し住民がより利用しやすい方法を考え改善する。また、新たなごみ分別ガイドブックを作成し、周知します。	
⑤地籍調査の推進	298,700千円
土地所有者の一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目・境界の調査と面積に関する測量を行い現況に合った地籍図・地籍簿を作成します。	
⑥避難訓練の実施	1,500千円
自主防災組織のみなさんが、自助・共助を意識し、災害時に避難行動が速やかにとれるよう、各地域で避難訓練を実施します。	
⑦災害時に迂回路として重要となる町道の整備	122,000千円
社会資本整備総合交付金事業や地方道路整備交付金事業などを活用して、災害時に迂回路として重要となる町道の整備を行います。	
⑧救急救命士の育成	2,971千円
救命率を向上させるため、救急車に必ず1名は救命士が同乗できるように、救急救命士の増員（養成）を図ります。	
⑨町社会福祉協議会運営事業	58,691千円
住民参加協同による福祉活動サービス推進のため、町社会福祉協議会に補助を行い、ボランティア活動及び在宅福祉事業の推進や、各福祉団体への活動支援強化を図ります。	
⑩通所介護事業所施設の運営委託・施設整備	26,570千円
高齢者が可能な限り自立した日常生活を送ることが出来るよう、通所介護事業の運営を町社会福祉協議会に委託し、高齢者の孤立感の解消や心身機能の維持、家族の介護の負担軽減などを図ります。	
⑪養護老人ホーム運営・入所措置	35,068千円
身体・精神または環境上の理由や経済的な理由により、自宅での生活が困難になった方を入所させ、食事サービス、機能訓練、その他の日常生活上必要な便宜を提供することにより養護を行います。	
⑫障がい者福祉事業	226,406千円
障害のある人も普通に暮らし、地域の一員として、ともに生きる社会づくりを目指して、障害者自立支援給付事業をはじめとする障がい保健福祉施策を推進します。	
⑬高齢者生活状況確認事業	1,986千円
緊急通報サービスや関係機関との連携を行い、一人暮らし高齢者の生活状況の把握と支援を行います。	
⑭障害者虐待防止事業	600千円
障害者の虐待の発生を防止するため、障害者虐待防止センター等を通じた取り組みを行います。	
⑮自然環境保全事業	1,083千円
環境美化パトロール員の強化や町内一斉清掃などにより、環境美化啓発運動を推進します。	

経済的に困窮している児童生徒を持つ世帯に対し、教材費などの負担軽減のため支援を行います。	
⑪特別支援教育就学補助	1,046千円
障害のある幼児児童生徒が特別支援学校や小中学校の特別支援学級等で学ぶ際に保護者が負担する教育関係経費について、家庭の経済状況等に応じ補助を行います。	
⑫特色ある学校づくり事業（中学生交流事業）	2,510千円
中学生が町外の中学生と交流を図り、異なる環境において初めての体験を通して、広い視野を持った人間となるよう育成に努めます。	
⑬放課後こども教室事業	7,448千円
学校の放課後や長期休暇期間において、地域の方々の参画を得て、安全・安心な子どもたちの活動拠点を設けます。	
⑭安心・安全な学校給食の充実	73,652千円
児童生徒にバランスのとれた食事、望ましい食習慣を形成する拠点として、直営で学校給食センターを運営します。	
(3) 移住・定住の促進、若い世代向け住宅施策の推進	
①若者定住支援事業	4,895千円
那賀町をより深く知ってもらうためにオンライン講座を配信し、より多くの関係人口を創出します。	
②奨学金返済免除制度による定住支援	13,980千円
経済的な理由により大学等に入学が困難な方に奨学金を貸与し、優秀な人材の育成を図るとともに定住促進を図る目的で貸与額の還付制度や補助制度による支援を行います。	
③地域コミュニティ活性化事業	11,520千円
町内各地区のまちづくり協議会の取り組みの支援や、コミュニティ助成事業を行い、地域の活性化を図ります。	
④町産木づかい住宅等支援事業	5,500千円
那賀町内での新築及びリフォーム物件の木材資材費を補助し、町産材の利用拡大と定住を支援します。	
⑤公営住宅維持管理事業	33,702千円
町営住宅の維持修繕工事を行い、居住環境の改善・充実に努め、定住化を図ります。	

4 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
(1) 暮らしの安心の実現	
①自主防災組織助成事業	100千円
自主防災組織ができていない地域で、新たな発足を目指します。	
②木造住宅耐震化促進事業	8,299千円
南海トラフの巨大地震に備え、木造住宅の耐震化を図り、地震に強いまちづくりを推進します。また老朽化した危険廃屋の解体を支援し、避難路を確保します。	
③高齢者の交通手段の整備	2,000千円

③⑩代替バス等運営事業	66,328千円
公共交通機関であるバス路線の維持を図るため、代替バスの運行や、老朽化したバス停の修繕を行い、高齢者や通学者の利便性を確保します。	
③⑪防災行政無線施設	27,791千円
防災行政無線として新設した減災コミュニケーションシステムにより、屋外放送や防災アプリを使い、防災情報を周知します。このほか移動系無線に、IP 無線や衛星ケイタイを併用し、通信網の充実を図ります。	
(2) 地域づくりの加速	
①宅配サービスの利用促進	900千円
商工会買物弱者対策事業に対して支援を行い、買物弱者対策として、宅配サービス事業・出前商店街事業を行います。	
(3) 情報通信の整備の推進	
①伝送路の最適化とF T T H化の推進	150,000千円
ケーブルテレビネットワーク網をF T T H化することにより、対災害性の強化及び4 K放送対応、情報通信の高速化とともに住民生活の利便性、快適さの向上を目指す。	
②Wi-Fi スポットの整備	600千円
フリーWi-Fi スポットを拡大することにより、観光客の訪れやすい環境づくりを進める。	
(4) 多様な人材が輝く地域づくりの加速	
①いきいき百歳体操の推進	1,907千円
地域住民が、主体的に介護予防を行うために積極的に始まっており、フレイル予防事業と連携して町民の健康寿命の延伸を図ります。	
②フレイルトレーナー・フレイルサポーター養成事業	3,110千円
健康に関する様々なチェックを行い、運動、食事、社会参加についての指導を行うことにより虚弱を予防し、健康寿命の延伸を図ります。	
③高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	17,971千円
敬老会の開催や、80 歳以上の方への敬老祝い金の支給などを行います。また各種の趣味講座等を開催したり、シルバー人材センターを運営する等、高齢者の生きがいと健康づくりに努めます。	
(5) 時代にあったふるさとづくりの加速	
①ふるさと寄付金収入の増大	50,000千円
各種ふるさと納税サイトで広く寄附を募り、地域活性化のための各種事業の財源として活用します。	

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部事業において内容を変更する場合があります。



①⑥合併浄化槽設置事業	6,438千円
合併処理浄化槽の設置を促進し、生活排水からの河川環境の保全に努めます。	
①⑦合併浄化槽維持管理事業	1,300千円
合併処理浄化槽の設置推進に向けた啓発活動及び既存の合併処理浄化槽の適正な維持管理を推進します。	
①⑧廃棄物処理	267,708千円
し尿及びごみの処理を直営で実施しており、適正な運営を行っています。なお新たなごみ処理施設（クリーンセンター）の運用開始により、処理効率の向上を図ります。	
①⑨各種予防接種実施事業	8,355千円
高齢者やクーポン券による風しん第5期の定期接種、風しん任意接種の助成等を行い、疫病予防に備えます。	
②⑩総合健診等実施事業	7,742千円
各種検診を実施するとともに、健康教室や健康相談を充実し、町民の健康づくりに努めます。	
②⑪簡易水道・集落排水事業への操出金	181,446千円
住民の暮らしを支える重要なインフラである上下水道施設の適正管理を行い、安定供給とコストの削減に努めます。	
②⑫地域医療体制の充実	234,417千円
医療体制を充実させるため、町立病院・診療所に運営補助を行い、本町に赴任した医師が働きやすい環境づくりと医師の確保対策に取り組みます。さらに看護師不足解消のための施策にも取り組み、町民が安心して住めるまちづくりを目指します。	
②⑬県単治山事業	19,615千円
山地災害や河川への土砂流出を防ぐため、各地域において治山事業を進めます。	
②⑭河川維持修繕工事	20,000千円
老朽化した河川施設の修繕を実施することにより、災害を未然に防止します。	
②⑮那賀町消防本部・消防署の運営	258,834千円
那賀町消防本部・消防署運営により、地域住民の生命と財産を守ります。	
②⑯那賀町消防団の運営	41,996千円
地域防災を担う地元消防団の積極的な活動により、住民の安心と安全を守ります。	
②⑰消防設備整備事業	40,907千円
地域の非常備消防力を向上させるため、小型ポンプ積載車や消防資機材の整備、消防水利の確保など、消防防災機能を高く維持します。	
②⑱災害対策事業	15,539千円
南海トラフの巨大地震や豪雨災害等に備え、避難所に必要な食糧の備蓄をすすめるとともに、簡易トイレや簡易ベッド、間仕切りテント等を備蓄し、快適な避難所となるよう整備します。	
②⑲浸水対策事業	90,692千円
鶯敷地区では、県の堤防事業に併せて、内水対策として排水路新設工事を実施します。木頭地区では、増水時に浸水する町道寺ノ内線に、陸閘を整備します。	

令和2年度 地方消費税交付金 (社会保障財源化分) の用途について

平成26年4月1日より5%から8%へ、令和元年10月1日より8%から10%へ、消費税率が引き上げられたことに伴い、地方消費税率も1.0%から2.2%に引き上げられております。その地方消費税率引上げに伴う地方消費税交付金の増収分については、その用途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

令和2年度一般会計予算における地方消費税交付金(社会保障財源化分)の充当状況は、次のとおりです。なお、地方消費税交付金の引上げ分の各施策への充当方法は、社会保障施策経費の一般財源総額に対する各施策経費の一般財源の割合により按分して算出しています。



【歳入】 地方消費税交付金(社会保障財源化分) 90,160 千円

【歳出】 社会保障施策経費(総額) 888,062 千円

(単位: 千円)

事業名		予算額	財 源 内 訳				
			特 定 財 源			一 般 財 源	
			国・県支出金	地方債	その他		うち地方消費税交付金(社会保障財源化分)
社会福祉	高齢者福祉事業	35,068				35,068	12,910
	障害者福祉事業	189,179	142,135			47,044	
	社会福祉事業	30,000	15,000			15,000	
	母子福祉事業	38,262	8,207			30,055	
社会保険	介護保険事業	285,037	21,891			263,146	50,706
	国民健康保険事業	73,522	31,500			42,022	
	高齢者医療事業	245,008	50,732			194,276	
保健衛生	病院事業	232,094				232,094	26,544
	疾病予防対策事業	21,903	763			21,140	
	医療提供体制確保事業	6,100		5,700		400	
	成人保健事業	9,167	350		1,000	7,817	
合 計		1,165,340	270,578	5,700	1,000	888,062	90,160

町内業者請負状況(建設工事)



那賀町が実施している事業について、今回の入札では以下の請負業者に決まりました。詳細については役場本庁舎にて閲覧することができます。

(お問い合わせ先) 会計課・検査室 TEL 0884-62-1120



契約日	工 事 名	工事場所	請負金額(円)	請負業者名
R2. 3.30	令和元年度 森林基盤整備事業林道開設工事	白 石	37,840,000	(有) 岩 崎 建 設
3.30	令和元年度 県単治山事業治山工事	丈ヶ谷	3,828,000	(株) 平 谷 建 設
3.30	令和元年度 森林基盤整備事業林道開設工事	木頭折宇	38,390,000	木 頭 開 発 (株)
3.31	令和元年度 町単独床上浸水特別緊急事業に伴う南川地区集落排水管路移設工事	和 食 郷	18,700,000	藤井鉄工建設(株)